

IV 世帯員の健康状況

1 自覚症状等の状況

自覚症状を持っている者（有訴者）は人口千人あたり322.5人（この割合を「有訴者率」という。）となっている。

性別に有訴者率（人口千対）をみると、男284.8、女358.1で女が高くなっている。

年齢階級別にみると、「15～24歳」206.4が最も低く、年齢が高くなるに従って上昇し、「75～84歳」以上では500を超えている。

有訴者の症状をみると、男では「腰痛」が最も高く、「せきやたんが出る」「肩こり」が続ぎ、女では「肩こり」が最も高く、「腰痛」「手足の関節が痛む」が続いている。（表16、図20）

表16 性・年齢階級別にみた有訴者率（人口千対）

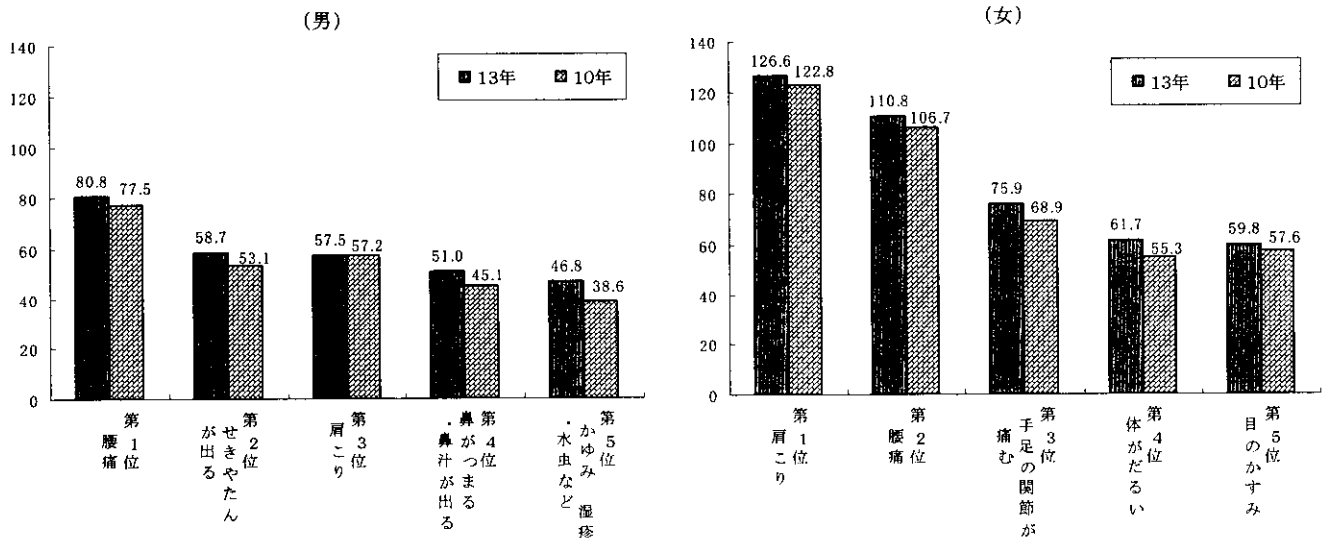
年齢階級	平成13年			平成10年		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	322.5	284.8	358.1	304.8	269.0	338.5
0～4歳	283.9	299.4	267.7	218.1	228.2	207.3
5～14	211.3	217.7	204.6	174.9	181.3	168.1
15～24	206.4	180.0	233.9	182.2	151.5	213.6
25～34	252.1	205.6	297.7	232.5	194.5	269.4
35～44	288.1	244.9	330.2	259.8	229.8	289.3
45～54	321.2	271.1	370.1	306.5	263.2	348.4
55～64	383.6	346.3	418.7	395.2	356.0	431.7
65～74	475.1	439.6	505.9	502.4	467.0	532.4
75～84	544.8	521.4	559.5	580.6	564.4	590.3
85歳以上	546.9	543.7	548.4	557.8	556.1	558.6
(再掲)						
65歳以上	502.7	469.1	527.9	530.3	498.3	553.7
70歳以上	525.9	498.8	544.4	558.6	532.9	575.3

注：「総数」には、年齢不詳を含む。

図20 性別にみた有訴者率の上位5症状

(人口千対)

(人口千対)



2 通院者の状況

傷病で通院している者（通院者）は人口千人あたり313.8人（この割合を「通院者率」という。）となっている。

性別に通院者率（人口千対）をみると、男287.4、女338.6で女が高くなっている。

年齢階級別にみると、「15～24歳」125.1が最も低く、年齢が高くなるに従って上昇し、「75～84歳」で674.7となっている。

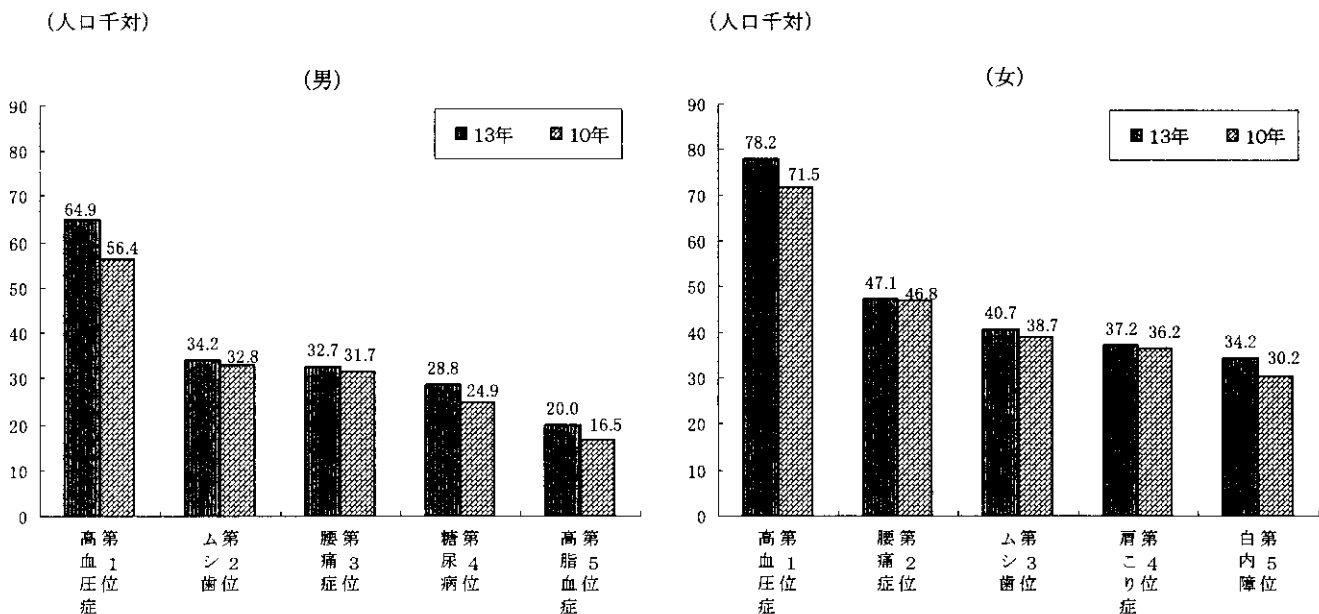
通院者の傷病をみると、男女とも「高血圧症」が最も高くなっている。（表17、図21）

表17 性・年齢階級別にみた通院者率（人口千対）

年齢階級	平成13年			平成10年		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	313.8	287.4	338.6	284.5	259.2	308.3
0～4歳	192.7	212.9	171.9	161.0	170.8	150.6
5～14	175.8	187.0	164.2	151.0	160.0	141.5
15～24	125.1	112.6	138.2	106.3	92.0	120.9
25～34	166.3	130.7	201.2	150.3	122.0	177.7
35～44	211.7	194.0	229.1	183.6	172.5	194.4
45～54	303.3	279.6	326.6	277.4	261.4	292.8
55～64	452.5	432.7	471.2	427.8	405.9	448.3
65～74	611.5	587.7	632.1	602.6	577.5	623.8
75～84	674.7	657.9	685.4	678.6	656.3	691.8
85歳以上	621.3	622.7	620.7	605.6	589.8	612.9
(再掲)						
65歳以上	631.6	609.4	648.3	625.4	599.0	644.6
70歳以上	658.5	643.2	668.9	653.9	630.5	669.1

注：「総数」には、年齢不詳を含む。

図21 性別にみた通院者率の上位5傷病



3 日常生活への影響

6歳以上の者について、健康上の問題で日常生活に影響のある者は人口千人あたり 103.0 人（この割合を「日常生活に影響ある者率」という。）となっている。

性別にみると、男92.3、女113.0で女が高くなっている。

影響の内容をみると、「仕事・家事・学業」45.7、「日常生活動作」34.9、「外出」32.1、「運動・スポーツ等」31.0となっており、男女ともに「仕事・家事・学業」が最も高くなっている。（表18）

表18 性・年齢階級別にみた日常生活に影響ある者（複数回答）率（人口千対）

平成13年

性 年齢階級	日常生活に影響のある者					
	日常生活 動作	外出	仕事・家事・ 学業	運動・ スポーツ等	その他	
総数	103.0	34.9	32.1	45.7	31.0	14.0
男	92.3	29.9	24.9	38.4	31.0	12.9
6～14歳	44.6	10.9	5.4	12.4	26.3	6.3
15～24	47.0	13.4	7.7	18.5	22.7	5.2
25～34	45.0	11.6	7.8	23.2	14.3	7.1
35～44	61.2	15.5	10.5	30.6	20.2	10.1
45～54	78.4	20.5	12.9	39.1	25.2	11.9
55～64	115.4	31.3	25.3	49.8	35.2	18.0
65～74	178.1	63.1	61.8	66.9	57.0	23.5
75～84	266.0	117.4	120.5	97.6	77.7	29.2
85歳以上 (再掲)	383.5	231.8	204.2	111.4	101.6	45.0
65歳以上	216.2	89.4	87.6	78.3	65.7	26.5
70歳以上	246.3	108.0	108.2	88.1	73.2	29.3
女	113.0	39.5	38.8	52.5	31.0	15.0
6～14歳	36.8	10.2	4.4	12.0	19.4	5.2
15～24	46.4	10.9	8.2	21.2	17.0	7.6
25～34	59.9	16.0	15.8	33.9	17.3	9.0
35～44	74.3	17.9	16.3	41.2	21.1	11.9
45～54	95.8	24.0	20.6	51.6	25.4	15.2
55～64	120.2	33.6	33.7	58.3	36.0	17.1
65～74	183.5	61.3	73.6	84.5	49.9	21.4
75～84	301.5	139.8	153.9	124.5	63.2	32.6
85歳以上 (再掲)	440.3	299.7	231.8	140.2	101.4	48.5
65歳以上	249.1	112.1	116.5	103.4	59.7	27.9
70歳以上	288.7	139.1	142.2	117.3	65.4	31.9

注：日常生活への影響を複数持っている場合は、それぞれに計上している。

4 健康状態

6歳以上の者（入院者は除く）について、自覚症状の有無、通院の有無、日常生活影響の有無による健康状態をみると、「自覚症状・通院・生活影響ともあり」の者は男6.0%、女7.8%となっており、「自覚症状・通院・生活影響ともなし」の者は男54.3%、女46.0%となっている。（表19、図22）

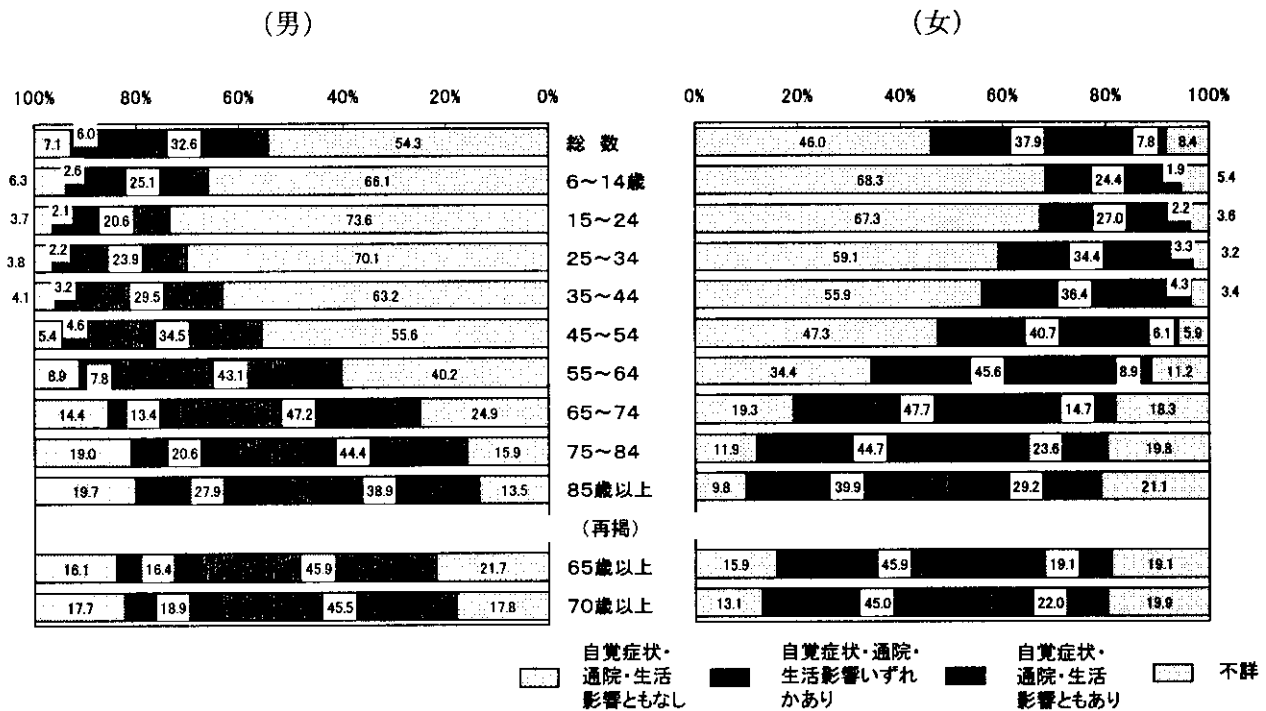
表19 健康状態の割合

(単位：%)		平成13年		
	総数	自覚症状・通院・生活影響ともなし	自覚症状・通院・生活影響いずれもあり	自覚症状・通院・生活影響ともあり
総数	100.0	50.0	35.3	6.9

注：「総数」には、健康状態不詳を含む。

図22 性・年齢階級別にみた健康状態の割合

平成13年



5 健康意識

6歳以上の者（入院者は除く）について、自分の健康をよいと思っている者（「よい」と「まあよい」をあわせた者）の割合は40.6%となっており、「ふつう」41.8%、「あまりよくない」10.1%、「よくない」1.4%となっている。

これを年齢階級別にみると、よいと思っている者の割合は男女ともに年齢が高くなるに従って少なくなっている。（表20）

表20 性・年齢階級別にみた健康意識の割合

(単位：%)		平成13年					
性 年齢階級	総数	よいと思っている者		ふつう	あまりよくない	よくない	
		よい	まあよい				
総数	100.0	40.6	24.2	16.4	41.8	10.1	1.4
男	100.0	43.1	26.4	16.6	41.0	8.8	1.3
6～14歳	100.0	63.4	45.9	17.6	27.4	2.4	0.3
15～24	100.0	53.4	34.6	18.8	37.8	4.4	0.5
25～34	100.0	49.9	31.7	18.2	39.5	6.3	0.6
35～44	100.0	44.7	26.4	18.3	42.7	8.1	0.8
45～54	100.0	37.7	22.0	15.6	47.9	9.2	1.0
55～64	100.0	35.0	19.8	15.2	45.7	11.1	1.6
65～74	100.0	29.5	15.1	14.4	43.2	15.1	2.5
75～84	100.0	24.1	11.4	12.7	37.7	20.1	4.8
85歳以上	100.0	19.7	8.5	11.2	35.3	22.5	7.7
(再掲)							
65歳以上	100.0	27.4	13.6	13.8	41.2	16.9	3.5
70歳以上	100.0	25.4	12.3	13.1	39.5	18.6	4.3
女	100.0	38.4	22.1	16.3	42.6	11.2	1.5
6～14歳	100.0	63.1	45.3	17.8	28.4	2.4	0.2
15～24	100.0	48.4	29.7	18.7	41.3	6.1	0.5
25～34	100.0	46.4	27.6	18.9	41.7	8.3	0.7
35～44	100.0	42.0	22.7	19.4	44.3	10.1	0.7
45～54	100.0	33.9	18.3	15.6	49.0	11.7	1.0
55～64	100.0	31.1	16.6	14.5	47.0	12.6	1.4
65～74	100.0	25.3	12.0	13.2	43.6	16.8	2.7
75～84	100.0	20.5	8.3	12.2	39.2	22.1	4.7
85歳以上	100.0	14.6	6.0	8.6	35.6	24.6	8.3
(再掲)							
65歳以上	100.0	22.6	10.2	12.4	41.3	19.4	3.9
70歳以上	100.0	20.9	8.9	12.0	39.8	21.1	4.7

注：入院者は含まない。

総数には健康意識不詳を含む。

6 悩みやストレスの状況

12歳以上の者（入院者を除く）について、日常生活での悩みやストレスの状況をみると、「ある」49.0%、「ない」44.0%となっている。（図23）

性別にみると、「悩みやストレスがある」の者は男45.1%、女52.6%で、年齢階級別にみると、男女とも35～44歳が最も多く、年齢が高くなるに従ってその割合は減少傾向にある。（表21）

なお、15歳以上の仕事のある者（入院者を除く）について、この状況を職業別にみると、男では管理的職業従事者、女では専門的・技術的職業従事者が最も高くなっており、年齢階級同様すべての職業において女が男を上回っている。（図24）

図23 ストレスがある者の割合

平成13年

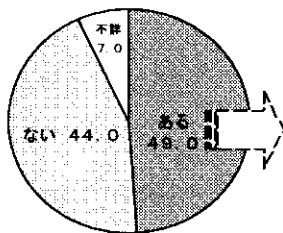


表21 性・年齢階級別にみたストレスがある者の割合

(単位:%)

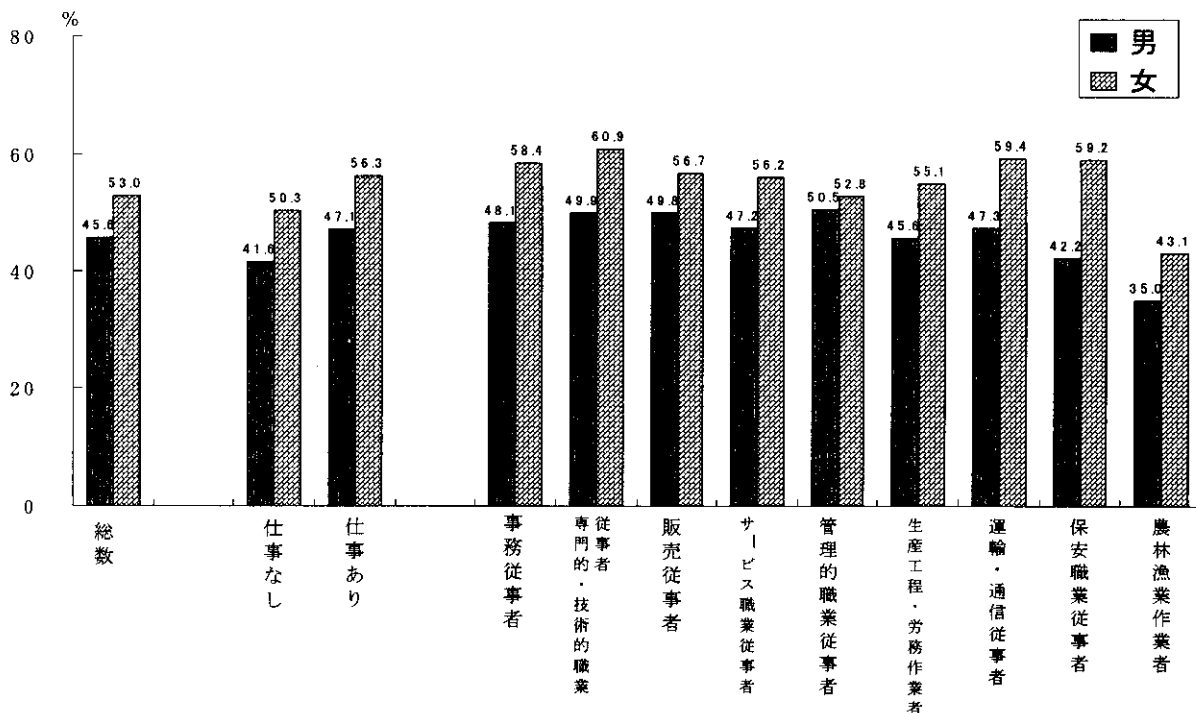
平成13年

	総数	12~14歳	15~24歳	25~34歳	35~44歳	45~54歳	55~64歳	65~74歳	75~84歳	85歳以上	65歳以上(再掲)	70歳以上(再掲)
総数	49.0	37.5	46.9	52.8	57.9	54.1	47.2	40.3	39.8	41.7	40.3	39.8
男	45.1	33.5	42.0	47.2	52.6	50.7	44.3	37.6	36.4	38.5	37.3	36.6
女	52.6	41.6	52.0	58.3	63.1	57.3	49.8	42.7	41.9	43.2	42.5	41.9

注：表21は12歳以上の者について観察しているため、本表と図24の「総数」は一致しない。（図24については、15歳以上について観察）

図24 性・仕事の有無－職業別にみたストレスがある者の割合

平成13年



また、「悩みやストレスがある」の者について、その原因をみると、男が「仕事に関すること」が最も多く、「自分の健康・病気」、「収入・家計・借金」が続く、女では、「自分の健康・病気」が最も多く、「仕事に関すること」「収入・家計・借金」が続いている。(表22)

表22 性・年齢階級別にみた上位5位までの悩みやストレスの原因

総数

(単位：%)

平成13年

年齢階級	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
総数	仕事に関すること 37.2	自分の健康・病気 29.8	収入・家計・借金 22.1	将来・老後の収入 20.0	同居家族の健康・病気 16.2

男

年齢階級	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
総数	仕事に関すること 50.4	自分の健康・病気 27.2	収入・家計・借金 22.5	将来・老後の収入 20.1	同居家族の健康・病気 13.9
12～14歳	自分の学業・受験・進学 75.6	家族以外との人間関係 14.9	家族との人間関係 9.8	自由にできる時間がない 8.5	自分の健康・病気 6.4
15～24	自分の学業・受験・進学 42.5	仕事に関すること 33.5	家族以外との人間関係 17.5	収入・家計・借金 14.8	生きがい 11.7
25～34	仕事に関すること 72.5	収入・家計・借金 27.3	家族以外との人間関係 15.9	将来・老後の収入 14.6	自由にできる時間がない 14.1
35～44	仕事に関すること 72.8	収入・家計・借金 29.0	自分の健康・病気 17.7	将来・老後の収入 16.8	家族以外との人間関係 14.5
45～54	仕事に関すること 65.9	収入・家計・借金 28.9	自分の健康・病気 26.9	将来・老後の収入 26.0	同居家族の健康・病気 15.5
55～64	仕事に関すること 43.7	自分の健康・病気 41.2	将来・老後の収入 34.1	収入・家計・借金 23.4	自分の老後の介護 22.1
65～74	自分の健康・病気 57.9	自分の老後の介護 33.1	将来・老後の収入 26.4	同居家族の健康・病気 25.8	仕事に関すること 13.9
75～84	自分の健康・病気 63.6	自分の老後の介護 33.6	同居家族の健康・病気 27.4	将来・老後の収入 15.2	家族との人間関係 10.0
85歳以上	自分の健康・病気 64.1	自分の老後の介護 29.3	同居家族の健康・病気 23.5	話相手がない 13.5	家族との人間関係 11.7
65歳以上(再掲)	自分の健康・病気 59.9	自分の老後の介護 33.0	同居家族の健康・病気 26.1	将来・老後の収入 22.1	収入・家計・借金 11.3
70歳以上(再掲)	自分の健康・病気 62.8	自分の老後の介護 33.3	同居家族の健康・病気 26.6	将来・老後の収入 16.7	家族との人間関係 10.1

女

年齢階級	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
総数	自分の健康・病気 31.9	仕事に関すること 26.7	収入・家計・借金 21.8	将来・老後の収入 19.9	同居家族の健康・病気 18.0
12～14歳	自分の学業・受験・進学 73.8	家族以外との人間関係 29.4	家族との人間関係 12.2	自由にできる時間がない 10.8	通勤・通学 9.3
15～24	自分の学業・受験・進学 38.2	仕事に関すること 35.7	家族以外との人間関係 25.1	収入・家計・借金 13.2	自由にできる時間がない 11.2
25～34	仕事に関すること 43.1	収入・家計・借金 28.5	育児 22.7	家族以外との人間関係 19.2	子供の教育 17.2
35～44	子供の教育 37.8	仕事に関すること 35.9	収入・家計・借金 34.1	自分の健康・病気 21.2	家族との人間関係 20.2
45～54	自分の健康・病気 34.1	仕事に関すること 31.8	将来・老後の収入 30.2	収入・家計・借金 29.2	同居家族の健康・病気 23.5
55～64	自分の健康・病気 47.3	将来・老後の収入 33.5	自分の老後の介護 31.4	同居家族の健康・病気 26.8	収入・家計・借金 18.8
65～74	自分の健康・病気 60.1	自分の老後の介護 40.3	同居家族の健康・病気 26.1	将来・老後の収入 22.1	家族との人間関係 11.9
75～84	自分の健康・病気 64.3	自分の老後の介護 37.9	同居家族の健康・病気 19.0	家族との人間関係 13.5	話相手がない 11.5
85歳以上	自分の健康・病気 63.7	自分の老後の介護 28.7	話相手がない 19.1	同居家族の健康・病気 15.1	することがない 14.7
65歳以上(再掲)	自分の健康・病気 61.8	自分の老後の介護 38.3	同居家族の健康・病気 22.6	将来・老後の収入 17.0	家族との人間関係 12.7
70歳以上(再掲)	自分の健康・病気 63.6	自分の老後の介護 37.5	同居家族の健康・病気 20.6	家族との人間関係 13.0	将来・老後の収入 13.0

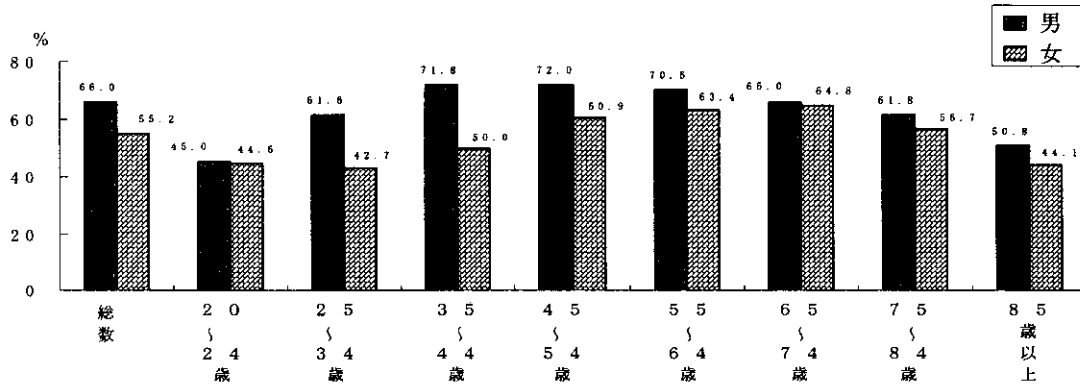
注：原因の数値は、各々の年齢階級で「悩みやストレスあり」とした者を100とした割合である。

7 健康診断や人間ドックの受診状況

20歳以上の者（入院者は除く）について、過去1年間の健康診断や人間ドックの受診状況をみると、男は45～54歳が72.0%と最も多く、女は65～74歳が64.8%と最も多くなっている。（図25）

図25 性・年齢階級別にみた健康診断や人間ドックの受診者の割合

平成13年



また、仕事の有無別にみると、「仕事あり」は66.1%、「仕事なし」は50.7%である。「仕事あり」の者を勤めか自営かの別にみると、一般常雇者は72.9%であるが、日々又は1月未満の契約の雇用者は45.9%と少ない。（図26）

図26 仕事の有無一勤めか自営か一無別にみた健康診断や人間ドックの受診状況の割合

平成13年

